

2021年5月18日  
プレスリリース

即時リリース用

## 成功裏に行われた中国国際自転車展覧会、開催期間注目を浴びた八方電気

2021年5月8日に、第30回中国国際自転車展覧会（以下「中国展」と略称）は上海新国際博覧センターで円満に閉幕した。今回の展覧会は、2021年5月5日に開幕し、4日間にわたる開催期間には、自転車業界で有名な完成車メーカーとパーツメーカーが数多く出展していた。八方電気は世界トップの電気自転車駆動システムのサプライヤーとして、自社ブランドの先端製品と先端技術を応用した製品を展示した。開催期間中、八方電気の展覧ブースにはたくさんの来場者が足を止め、問い合わせや協力意向を示した顧客が絶えなかった。八方電気の展示ベースは、自転車業界のメディアに最も注目された人気展示ブースの一つとなっていた。



写真：Bafang

今回の展覧会で、八方は展示エリアをヨーロッパ、北米、国内という三つのエリアに分け、各エリアにその国の市場ニーズに応えた製品が展示されていた。例えば、現場で問い合わせが一番多かった M500 駆動システムはヨーロッパ市場に広く使われており、その 95N.m の最大トルク

は強力のパワーを長時間提供することが可能である。また、街乗り自転車とツーリング専用の自転車に適用する M420 駆動システムは洗練されたデザインになっており、250W の定格出力があり、法定支持速度ある 25kph まで安定にサポートできる。H500W 駆動システムは、強力で効率的なエネルギーが提供できるため、アメリカではビーチクルーザー自転車や重量級貨物車に広く使われている。

「中国は自転車大国なので、中国の絶えず発展に伴い、電気自転車は主な交通手段となっている。そのために、これから、八方電気は一部の精力と資源を国内に向け、国内と国外という二つの大きなエンジン市場を通して、市場により多くのチャンスを作りたいという計画である。」と八方電気マーケティング ディレクターの蔣輝平が述べている。今回の展覧会では、八方電気は国内市場向けの電機製品を展示し、そのサイズは 12、13、14、16、17 インチなどあり、出力は 1000-4000W であり、ほとんどの国内電気製品のニーズに満たすことが可能である。その中の RM DBB0.2000D はハーレー式電機は砂漠、山地、砂浜などに使用することができる。UM DGB1.5000.D テーセスエックス電機のピーク出力は 6000W に達し、高スピード、高トルクなどの特徴を持ち、国内のバイク愛好家に最高のバイク体験をもたらすことが可能である。



写真 : Bafang

豊富な製品展示以外、開催期間、八方電気は北米とヨーロッパ市場向けの新製品を紹介するシェアリングイベントを開いた。シェアリングイベントは「大道至簡、智慧生活（大道は至りて

簡し、スマートな生活)」をテーマとし、主に北米とヨーロッパ市場の概況、製品の応用シーンと特性、電気駆動システムのソリューション、交付状態、配合性などの面で紹介した。シェアリングイベントによって、八方電気の製品に対する顧客の理解が深まり、これからの協力により基盤が作られた。

中国展は自転車業界発展の「バロメータ」としてのは高い注目を集めている。とくに新型コロナウイルス流行発生後、オフラインの展覧会は多くの国でつまづいていた。今回の中国展は「内外兼修、協力共贏（内面と外面を重視、協カウィンウィン）」をテーマにし、世界の両輪車業界をここに集め、共に産業発展の計画を話し合い、新たな商業交流を促すための舞台を作ることを目標としている。

**メディア連絡先:**

キャサリン・MA

メール: [katherine.ma@bafang-e.com](mailto:katherine.ma@bafang-e.com)**Bafang について: [www.bafang-e.com](http://www.bafang-e.com)**

Bafang は、イーモビリティ部品と完全なイードライブシステムの大手メーカーの一つであり、2003 年から電気車両向けの部品と完全なシステムを開発してきました。Bafang は上海証券取引所 (603489.SS) に上場しています。

同社は、個人の電動アシスト自転車、電動スクーター、またはシェア自転車計画など、未来のグローバルなイーモビリティ動向の全てに焦点を当てています。Bafang は世界中で約 1000 名のスタッフを雇用しています。本社と開発/製造センターは上海近郊の蘇州に位置しています。Bafang はオランダと、アメリカ、ドイツ、日本、中国の台湾に販売およびサービスセンターを持っています。ポーランドに新たに開設された工場は、欧州市場向けミッドモーターシステムの生産に注力していきます。

このリリースはバーファン電気（蘇州）股份有限公司 (Bafang Electric (Suzhou) Co., Ltd.) が発行しており、同社がその内容に対する最終責任を有しています。